

○ 会 議 録

会 議 名	平成29年度第2回 都市計画審議会			
開催年月日	平成29年8月7日（月）			
開催場所	基山町役場 2階202会議室			
開閉会日時	開会	13時30分		
	閉会	14時30分		
出席者並びに 欠席者 出席10名 欠席0名	氏 名	出・欠	氏 名	出・欠
	河野 保久	出	杉野 朗	出
	田口 英信	出	岡本 哲男	出
	桑野 久明	出	永家 重光	出
	久保山 義明	出	日野 春記	出
	坂本 勇一	出	西野 弘子	出

～ 13時30分開会～

発言者：事務局 毛利

基山町都市計画審議会設置条例第7条第2項に基づき、委員の方の2分の1以上の出席があったので、会が成立していることを報告する。また、今回の議題「都市計画道路見直しについて」調査業務委託を請け負った株式会社オオバ九州支店係長の吉岡様にオブザーバーとしてご出席いただいていることを合わせて報告。

前回の会議をご出席されていた方及び新しく委員になられた方の委嘱書の交付及びご紹介。議事進行を河野会長に願います。

発言者：河野会長

では、議題に入る。議題1「都市計画道路見直し方針について」事務局から説明を。

発言者：事務局 山田

前回の第1回の審議会でご指摘のあった内容の修正及び資料の追加を行っている。前回出席されていない委員の方もいるため、初めから説明する。

【説明内容】

- ・都市計画決定されてから長期間未着手になっている2か所の都市計画道路の見直しを行うため、平成27・28年度に交通量調査業務を行っており、この結果から今後の方針を決定したい。交通量調査には、第4回北部九州圏パーソントリップ調査による平成37年度の推計データを活用しており、基山町独自で交通量調査を行い推計したものでない。よって、前回審議会でご指摘のあった国道3号線の交通量の推計がおかしいとのご質問については、公的なデータを用いているため変更ができないことを予めご了承いただきたい。

- ・1つ目の長期未着手計画道路は、「年の森正応寺線」

この道路は、昭和46年に都市計画決定されており、一部（高島団地の南側に東西に走る道路）は既に整備されているが、JR鹿児島本線の上空に計画されていた立体的なループ橋は未着手となっている。この未着手部分の交通については、現在ドラックストアモリからファミリーマート長野店につながる町道（以下、現道①という。）が代替道路として利用されている。交通量調査では、ループ橋を整備しない場合は現道①の平成37年度推計交通量は1日800台。ループ橋を整備する場合は、交通量1日1,000台の推計結果。平成27年度に実際に調査した交通量では、12時間（交通量の多いAM7時からPM7時の間）で2,000台の交通量であった。現在、現道①において渋滞等発生しておらず、整備しても1日あたり200台程度の増加のため費用対効果がないと考えられる。また、小倉小松線及び鳥栖市弥生が丘のアンダーパスがすでに整備されており、東西市街地のアクセス向上という当初の目的は達成されたと判断している。

このことから、下記の見直し計画（案）のとおり、平成30年4月をもって計画を廃止したいと考える。

【見直し計画（案）】

1. 鹿児島本線と立体交差する3.4.6号年の森正応寺線の延長及び区域を変更し、名称を年の森日渡線に改めるものである。
2. 併せて、3.4.6号年の森正応寺線の変更に伴い、3.4.12号年の森正応寺線の新設、3.3.1号三国長野原線、3.4.119号鳥栖基山線、7.5.1号牛会八ツ並線の区域の変更を行う。

・2つ目の長期未着手計画道路は、「黒谷線」

このは、平成2年に都市計画決定されており、一部（工業地域の北側の端まで）は既に整備されているが、県道17号線の宮浦インターに接続するように計画されている区間は未着手となっている。この未着手部分の交通については、車が1台ギリギリ通ることのできる道（以下、現道②という。）が代替道路として利用されている。

交通量調査では、未着手区間を整備しない場合は整備済区間の平成37年度推計交通量は1日2,000台。未着手区間を整備する場合は、整備済区間（南側）の交通量1日1,600台、未整備区間（北側）の交通量1日400台に分散されとの推計結果。平成27年度に実際に調査した交通量では、12時間（交通量の多いAM7時からPM7時の間）で2,800台の交通量があったものの、現在のところ交通渋滞等は発生していない。しかし、この地域は鳥栖北部丘陵新都市基山地区（基山グリーンパーク）で工業団地として産業拠点に位置づけられており、今後この地における新たな企業誘致等があれば、数百台程度交通量が増加する可能性がある。また、通り抜け道路を整備することは、災害時における避難経路の確保や交通利便性向上につながり、延いては工業地域としての価値を上げることに繋がる。

このことから、黒谷線の長期未着手区間については、計画を残して今後整備する道路として存続したいと考える。

以上、2つの長期未着手道路について、委員の皆様にご審議いただき、方針を決定したい。

発言者：河野会長

事務局からの説明があったが、まずは委員の皆様からご質問やご意見等があれば発言していただきたい。

発言者：西野委員

年の森正応寺線の計画を廃止した場合、周辺住民や利用者にとって利便性・環境悪化にならないのか。

発言者：事務局 山田

この計画地の地権者等に個別説明を行っているが、この計画自体が長期間未着手となっており、もう計画道路は整備しないだろうと思っていた方がほとんどであった。ただ、この計画を念頭に置いて人生設計されていた方もいたため、周辺住民・地権者の方には、丁寧な説明をしていきたいと思っている。環境の変化については、計画を廃止しても現在の状況と変わらないため、今さら整備してもどうなのかとあっていらっしゃる方が多かった。

発言者：河野会長

100%ではないものの、大半が納得していると考えてよいか。

発言者：事務局 山田

よい。

発言者：事務局 毛利

費用対効果の面から現実的に整備することは難しいとあっていらっしゃる方が多かった。

発言者：久保山委員

パーソントリップ調査のデータを利用しているとのことであるが、平成17年の次の第5回調査はいつであったか。

発言者：事務局 山田

平成27年に実施されているが、結果はまだ公表されていない。平成17年の調査においても結果が公表されたのは、平成19年だったので、平成27年の調査結果においても今年あたり公表されるのではないかと考えている。

発言者：久保山委員

平成27年調査結果において、平成17年と大幅に変わることはないとの判断でよいか。

発言者：事務局 山田

よい。

発言者：オブザーバー 吉岡氏

傾向としては、人口減少が進んでいるなどの要因から交通量も減少傾向にあると考えており、大幅に変更はないと判断している。

発言者：田口副会長

年の森正応寺線は、多くの地元の方からも同意があったように費用対効果の面から廃止が望ましいと思っている。黒谷線については、整備してもしなくても交通量的には変わらないものの、今後の新たな企業誘致に向けた土地利用に基づいて整備する時期をきちんと見極めるべきである。誘致の計画がないのに道だけ整備するのは効果的とは言えない。緊急時道路の整備といっても、行き止まりのある工業団地内の道路は全国的にも多い。あれだけ広い道路がすでに整備されているのだから、避難経路としては十分である。建設ありきの計画存続ではなく、今後の企業誘致開発の計画段階で再度審議すること前提の計画存続とすべき。

発言者：事務局 毛利

田口副会長のおっしゃるとおり、高低差があるもののこの地域は開発可能な土地が広がっている。この地への企業誘致計画に則って計画道路の整備を行うことが考えられる。

発言者：久保山委員

新たな開発の前に、この工業地域（現グリーンパーク内）において企業誘致できる場所はもうないのか。

発言者：事務局 毛利

現在、土取を行っている場所以外はない。

発言者：永家委員

年の森正応寺線の代替道路として利用している町道には大型車両の通行規制の幕が張ってあると記憶しているが、あれは公安委員会が設置したものか。

発言者：古賀建設課長

ここは、ＪＲ線路への通行における公安委員会と協議において大型車両の通行制限を取り決めた道路である。標識だけでは見落としが多く、大型車両が進入してくるため、基山町が横断幕を設置して大型車両の通行制限を表示している。

発言者：永家委員

ＪＲの踏切の幅等の問題もあるが、今後大型車が通行できるようにすることは考えていないのか。国道３号線から県道１７号線に通り抜けるため、大型車も通行したいと思うがいかがか。

発言者：事務局 毛利

この道は通学路にもなっているため、数年前に側溝にふた掛けし、路側帯をカラー舗装している。この道幅では、大型車の通行は危ないと思われる。ドラックストアモリとマックスバリュの間の西側の三叉路は信号機もないので、現状では危ないと思われる。

発言者：永家委員

道路交通法上の標識はあるか。

発言者：古賀建設課長

ある。マイクロバスは進入できるが大型貨物車は進入不可であることが明記された標識である。基山町が設置している横断幕は、ファミリーマートから出てくる大型車に向けて道路管理者として示しているものである。

発言者：永家委員

了解した。

発言者：久保山委員

ちなみにこの道路は町道何線か。

発言者：古賀建設課長

町道荒籠線である。

発言者：河野会長

ほかに意見はあるか。

発言者：杉野委員

都市計画道路は、その計画地内の地権者等に制限をかけていたことになるので、その廃止という決断はとても重い責任を伴うものである。よって、都市計画道路の見直し原案の作成の際に地権者や利用者に説明会を開いたほうが良いと思うが予定しているか。

発言者：事務局 毛利

地権者については、個別に説明に回っている。今後としては、パブリックコメントで意見を聴取し、公聴会を開催して対応したいと考える。

発言者：栗野委員

黒谷線については、計画を残すことに賛成である。先日起きた集中豪雨において壊れることを想定していなかった日田のJR線路が流木等により流されている。これから、災害において何があるかわからないので工業団地の方々の避難経路という観点からも通り抜け道路は整備すべきだと思う。ただ、莫大な費用が発生することなので、整備時期については慎重に検討したほうが良いと思う。

発言者：河野会長

意見ということでよいか。

発言者：栗野委員

よい。

発言者：河野会長

ほかに意見はないか。無いようであるので、今日の審議の内容をまとめると、今回の方針案については、皆さんの了承を得たと判断する。ただし、審議会としては、年の森正応寺線の計画の一部を廃止することについては、十分に地元の地権者等に説明をすること。黒谷線については、道路ありきというわけではなく、周辺の土地利用を考慮した上で今後計画を考えていくということを付け加えてまとめさせてもらってよいか。

発言者：委員一同

よい。

発言者：河野会長

では、来年に計画決定の最終決断を行うということで、委員・事務局から他に無いようであれば、議事を終了する。

発言者：事務局 毛利

河野会長、議事進行感謝する。

今日の審議の内容を参考に今後のスケジュールを進めていく。来年に再度計画決定のため都市計画審議会を開催することになると思う。本日は、貴重な意見感謝する。これをもって、本日の審議会を終了する。

～ 14時30分閉会～